

4 KPI (戦略の目標)

【最上位目標】 **市内総生産 4兆円 (R15年度)** ※R2年度 3兆6,696億円

実現のための3つの戦略

**【戦略①】 地域企業の成長・発展と
高付加価値化戦略**
(稼げる企業に変革する)

**【戦略②】 産業の裾野を広げる
成長産業創出戦略**
(稼げる企業を創出する)

【戦略③】 「民」が主役の資源活用戦略
(稼げる企業が活躍する)

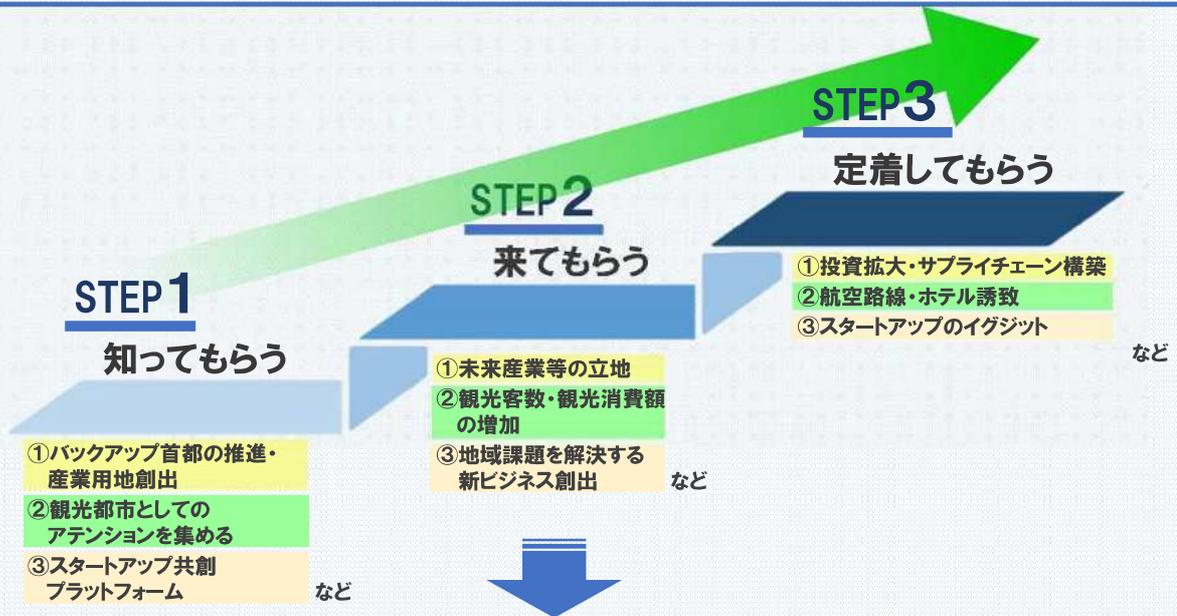
ダッシュボード	検証指標
方策①産業基盤のポテンシャル開花	I 企業誘致件数
	II 新規雇用創出数(誘致)
方策②学術研究都市の知の活用とGX・グリーン産業の推進	III 先端企業の集積・GX関連の新ビジネス創出企業数
	IV 再生可能エネルギー導入量
方策③生産性向上と新しい価値創造に向けたDX推進等	V 労働生産性(全産業・うち第三次産業)
	VI 雇用者一人当たりの雇用者報酬
	VII スタートアップイグジット件数
方策④DE&I推進による誰もが活躍できる環境の整備	VIII 新卒学生の地元就職率
	IX 就業率(女性・シニア・外国人)
方策⑤アテンションを集めるブランディング	X 観光消費額・宿泊客数
方策⑥メガリージョンの構築	XI スタートアップ資金調達額
	XII スタートアップ誘致件数

9

4 KPI (戦略の目標・現状)

検証指標	基準(戦略策定時)	現状(最新値)	目標
方策①産業基盤のポテンシャル開花			
I 企業誘致件数	290件 (R1~5)	93件 (R6)	330件 (R6~10)
II 新規雇用創出数(誘致)	4,200人 (R1~5)	1,606人 (R6)	5,100人 (R6~10)
方策②学術研究都市の知の活用とGX・グリーン産業の推進			
III 先端企業の集積・GX関連の新ビジネス創出企業数	—	先端企業集積 13社 (R5~6) 新ビジネス創出 3社 (R5~6)	先端企業集積 20社 (R5~12) 新ビジネス創出 30社 (R5~12)
IV 再生可能エネルギー導入量	436MW (R2)	457MW (R5)	1,400MW (R12)
方策③生産性向上と新しい価値創造に向けたDX推進等			
V 労働生産性(全産業・うち第三次産業)	全産業 8,180千円/人(R2) うち第三次産業 7,363千円/人(R2)	全産業 8,856千円/人(R3) うち第三次産業 7,475千円/人(R3)	全産業 9,000千円/人(R15) うち第三次産業 8,000千円/人(R15)
VI 雇用者一人当たりの雇用者報酬	4,631千円/人 (R2)	4,684千円/人 (R3)	5,000千円/人 (R15)
VII スタートアップイグジット件数	—	0件 (R5)	3件 (R6~10)
方策④DE&I推進による誰もが活躍できる環境の整備			
VIII 新卒学生の地元就職率	35.7% (R4)	35.8% (R5)	40.0% (R10)
IX 就業率(女性・シニア・外国人)	女性 79.8% (R4)	国の公表にあわせて更新	女性 82.0% (R10)
	シニア 23.4% (R2)		シニア 30.0% (R 7)
	外国人 72.1% (R2)		外国人 80.0% (R 7)
方策⑤アテンションを集めるブランディング			
X 観光消費額・宿泊客数	827億円・173万人 (R4)	1,004億円・185万人 (R5)	1,800億円・260万人 (R10)
方策⑥メガリージョンの構築			
XI スタートアップ資金調達額	—	27.9億円 (R5)	100億円 (~R9)
XII スタートアップ誘致件数	—	13社 (R5)	50社 (~R9)

10



そして、中長期的に、この戦略の最終目標である

『世界を先導する「グリーン×テック シティ Kitakyushu」』
～課題解決先進都市への挑戦～

を実現していきます。

【方策①】産業基盤のポテンシャル開花

(掲げる業づくり)

- (1) バックアップ首都の推進
- (2) 経済安全保障の観点で踏まえた重点分野等の誘致促進
- (3) 民間の知恵と活力を生かした産業用地の創出
- (4) アジア諸国の成長力を取り込む対日投資の促進
- (5) 九州・西中国の物流ハブ形成

【方策②】学術研究都市の知の活用とGX・グリーン産業の推進

(掲げる産業づくり)

- (1) 将来の経済成長を力強く牽引する未来産業の振興
- (2) 産学官金、オール北九州でGX投資を促進
- (3) グリーンスクールへの転換に伴う事業変革
- (4) 「北九州グリーンインパクト」の推進
- (5) アジアの社会課題解決への貢献と国際ビジネスの推進

【方策③】生産性向上と新しい価値創造に向けたDX推進等

(掲げる企業づくり)

- (1) DX製造革命の推進
- (2) 地域を支える中小企業の成長・発展に向けた経営基盤の強化
- (3) 地域中核企業の飛躍的成長への挑戦
- (4) 商業・サービス産業の生産性向上、多様な新サービス産業の集積促進
- (5) スタートアップと多様な掛け合わせによる新たな価値の創造
- (6) 国家戦略特区など規制緩和による投資環境の整備

【方策④】DX推進による誰もが活躍できる環境の整備

(掲げる人材づくり)

- (1) 将来を担う若者の地元就職促進と魅力的な職場づくり
- (2) 女性がいきいきと働きやすい環境づくり
- (3) シニア・外国人材など多様な人材が活躍できる環境の整備
- (4) 地域経済の担い手である中小企業を支える人材の確保・育成
- (5) 能力開花につながるリスクリングの促進

【方策⑤】アテンションを集めるブランディング

(掲げるきっかけづくり)

- (1) 北九州市への関心を呼び覚ます広報・ブランディングの推進
- (2) 首都圏等における企業誘致プロモーションの強化
- (3) 人を呼び込み、にぎわいを創出する観光・MICEの推進
- (4) 経済成長のエンジンとなるインバウンドの推進
- (5) 国内外の若者を惹きつけるエンターテインメントの推進

【方策⑥】メガリージョンの構築

(掲げるエリアづくり)

- (1) エリアで惹きつける広域観光・インバウンド・MICEの推進
- (2) エリアで呼び込む広域産業集積・投資の促進
- (3) エリアで掛け合わせる広域連携スタートアップ支援の推進
- (4) 北九州空港、福岡空港の役割分担と相互補完の推進

PDCAのための
成長戦略会議



産官リーディングプロジェクトを設定
政策提案等を行う
官民対話テーブル



産官連携の
“プラットフォーム”構築

北九州市成長戦略会議

- 市内総生産や12項目の検証指標群、各種施策の進捗状況などの点検・評価を行う
- メンバーは、企業・業界団体や金融機関の代表者など
- 6つの横断的方策ごとに取組や事業などについて意見交換等を実施

北九州市官民対話テーブル

- 北九州市から提案された産官連携リーディングプロジェクト、KPIを設定し、プロジェクト推進のための協議、アクション等を行う
- 市長へ対して政策提案を行うとともに、政策の実現に向けて、市と連携・協力を行う
- メンバーは、市内の企業経営者

北九州市産業共創プラットフォーム

